

担当教員 岸上伸啓				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSa04	授業形態 講義・演習	単位 2
キーワード 文化人類学理論、研究方法、概念		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較社会研究特論 II				
科目名称：英語 Proseminar II (Social / Cultural Anthropology)				
科目の概要：日本語 社会・文化に関する人類学的アプローチ				
科目の概要：英語 Anthropological Approaches to Culture and Society				
科目の目的： 文化人類学の基礎的知識を習得する。				
学習成果・習得する技能や知識： 文化人類学における基礎概念や理論、研究方法について習得し、自分の博士研究に応用できるようにする。				
成績評価方法・基準： 出席(30%)、口頭報告の内容(50%)、議論への参加(20%) ・3分の2以上の出席をしているかどうか。 ・各自の報告が既存の見解を適切に要約しているかどうか。 ・質疑応答が的確で、批判的な検討を行っているかどうか。				
授業内容： 下記のテーマについて検討を加える。 (1) 文化人類学理論の展開：概論 (2) 生物としてのヒトと社会的存在としての人間 (3) 文化の概念 (4) 文化相対主義と多文化主義 (5) 生態人類学と環境人類学 (6) 構造主義人類学 (7) 象徴人類学と解釈人類学 (8) エスニシティ論 (9) ジェンダー論 (10) 文化批判とポストコロニアル人類学 (11) 世界システム論と従属論、グローバリゼーション論 (12) 実践理論 (13) 開発人類学と開発の人類学				

(14) 文化人類学の新しい潮流 (エージェンシー論とネットワーク分析)

(15) 文化人類学の新しい潮流 (存在論的人類学)

日程 :

金曜 2 限(10:30~12:00)、第 1 回は 4 月 15 日

実施場所 :

大学院セミナー室

使用言語 :

日本語

その他使用言語 :

英語

準備学習 :

各テーマについて事前に指定された文献を読み、報告もしくは議論の準備を必要とする。

関連科目・履修条件 :

特になし。

教科書・必読書 :

事前に読むべき文献については第 1 回目の講義の時にリストを配布する。

参考書・その他の教材 :

綾部恒雄編 1984 『文化人類学 15 の理論』中公新書。

綾部恒雄編 2004 『文化人類学 20 の理論』弘文堂。

竹沢尚一郎 2007 『人類学的思考の歴史』世界思想社。

春日直樹編 2011 『現実批判の人類学』世界思想社。

岸上伸啓 2016 『文化人類学』風土デザイン研究所。

備考 : 日本語

地域文化学・比較文化学の 2 専攻の学生のみ申請可